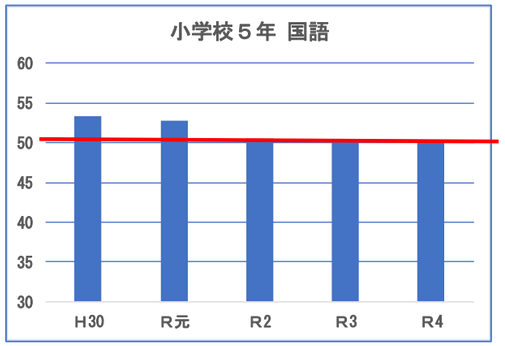
1　確かな学力の育成について

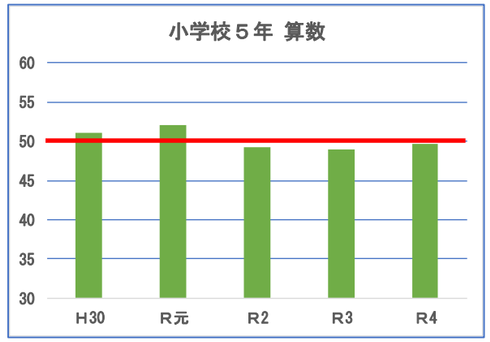
1　標準学力検査の推移

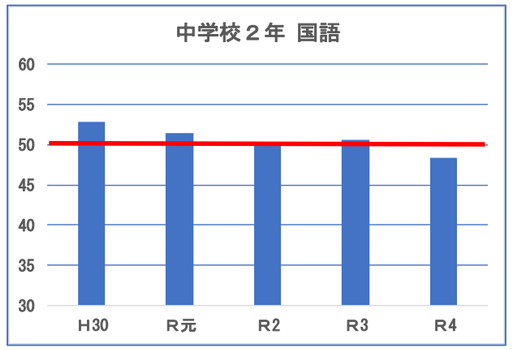
○　標準学力検査とは、学習指導要領に準拠した検査で、当市では小学校２年生と５年生、中学校２年生を対象に実施している。

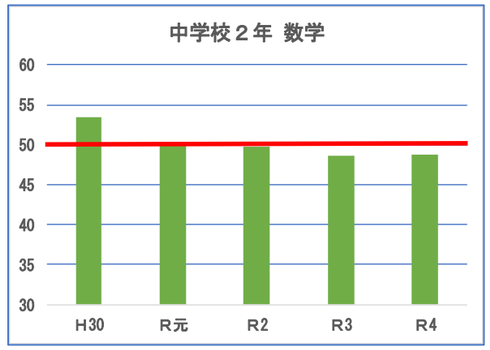
評価は、全国基準に照らした相対評価法で、全国平均を 50 とする偏差値平均で行う。

○　近年の傾向として、全体的にやや低下傾向にある。また、算数及び数学は全国平均に達していない状況にある。









○　学年が上がるにつれて両科目とも低下傾向にあり、その改善が課題となっている。

【小学校】

学年	教科	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4
		11 歳			11 歳			
５年	国語	55.2	53.2	53.4	52.8	50.5	50.4	50.3
	算数	54.3	52.0	51.1	52.1	49.3	49.0	49.6

【中学校】

学年	教科	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4
					14 歳			14 歳
２年	国語	51.3	50.6	52.8	51.4	49.9	50.6	48.3
	数学	49.0	49.4	53.5	50.1	49.8	48.6	48.8

2　学力の育成に向けた市の取組

「学校に行くのは楽しいと思う」児童生徒の割合は、小学校 85%、中学校 83%で、全国平均を上回っている。（令和４年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙）

学校の魅力をさらに高め、未来を主体的に判断し、たくましく生き抜く力を育むために不可欠な確かな学力の育成に向けて、諸調査の結果から課題を明確にして、全教職員で課題解決を目指す取組を展開する。

(1) 大船渡市学力向上研究委員会（年４回）の開催

国語、算数・数学、外国語、ICT 推進の４班に分かれ、各校１名の研究委員により、モデル授業の実践を行う。

終了後には、班ごとに作成した報告書と授業 VTR を各校に配布し、共有する。

年間スケジュール
- １回目　全体で市の課題を明らかにし、モデル授業の構築に向けた計画づくり
- ２回目　班ごとの授業づくりの検討
- ３回目　授業実践。各校に案内を通知し、希望者は参観できる。
- ４回目　各班からの報告

(2) 各校における「確かな学力育成プラン」の推進

各校で育成を目指す資質・能力及び数値目標を定め、全職員による検証改善サイクル（ＣＡＰＤサイクル）により、その達成を目指している。

１　学校教育目標

▲

２　学校全体で育成を目指す資質・能力

▲

３　２の達成に向けた全職員による検証改善サイクルの具体（CAPD サイクル）
- (1)　調査結果の分析と児童の課題の明確化　（分析・検証　Ｃｈｅｃｋ）
- ↓
- (2)　課題解決のための手立ての明確化　（改善　Ａｃｔｉｏｎ）
- ↓
- (3)　「確かな学力育成プラン」年間計画について（計画　Ｐｌａｎ）

(3)「まなびフェスト」と活用した学校評価の実施

各学校において、特に重視して目指すべき成果や取組について、定量的・定性的な具体目標を「まなびフェスト」をして設定している。

学校と児童生徒、家庭・地域が共有し、達成に努めている。

※　各校の「まなびフェスト」事例

令和４年度　　まなびフェスト　　大船渡市立越喜来小学校

児童・教師・保護者がともに伸びる越喜来小学校

学校で

■基礎学力の定着
・各月の計算大会９割以上
・指導要領配当漢字の全てが読め、８割が書ける
　１年（80 字）
　２年（160 字）
　３年（200 字）
　４年（202 字）
　５年（193 字）
　６年（191 字）
■１年を通した家庭学習の習慣化
　低３０分　中４５分
　高６０分
■進んで読書をする。
（年間目標）
・低 110 冊　中 80 冊
　高 60 冊
・「うちどく」の励行
■毎日タブレットに触れる
■意欲的に学ぶ子を育てるＣＲＴ「主体的に学習に取り組む態度に関する集計」全国比上回る

■頑張りを認め合える活動の推進
・行事、集会活動、たてわり活動などで事前、事後を大切にし、目標、反省を書く
■明るいあいさつや前向きなことば、ぽかぽかことばが当たり前に交わされる学校
・ふりかえりアンケートの「あいさつ」の項目「よくできた」が９割以上
■周りが見える子、気の利く行動がとれる子を育てる
・掃除・当番、キャリア教育、係・児童会活動などで
■積極的な生徒指導による、いじめ防止(早期発見、早期対応そして共有)

■業間マラソンや水泳、なわとびでは目標に向かって最後までがんばる。
　業間マラソン
　　４月～11 月
　業間なわとび
　　12 月～３月
　雨天時　ストレッチ
■新体力テストや身体測定・検診などの結果を意識した活動に取り組む
・柔軟性の向上、肥満傾向の改善、むし歯予防、治療の促進、給食後の歯みがきの徹底など
■自分の命を自分で守れるように、技能や判断力を養い、防災意識を高める。
■感染症対策の徹底

学校教育目標

かしこく

やさしく

たくましく

家庭で

□家庭学習の習慣化を図る。
・時間のめやすをもとにテレビを消して机に向かわせる
・ノーメディア週間の取組
・「うちどく」への取組
・音読を聞きカードにサインをする
□次の日の準備を必ずさせ

□家でもあいさつや返事をきちんとさせる。
□正しく丁寧な言葉遣いをさせる。
□家族の一員として、お手伝い(仕事)をさせる。
□ゲームやテレビ・ＳＮＳのルールを決める。

□早寝・早起き・朝ご飯の生活リズムを守る。
□食後の歯みがきとむし歯を早期に治療する。
□家族で避難場所を話し合い、どこにいても避難できるようにする。
□交通ルールを守り、事故に遭わないようにする。

大船渡中学校まなびフェスト

校訓

黒潮魂～明るく、賢く、逞しく～

学校教育目標

自ら学び、進路を開拓しようとする生徒の育成　／　思いやり、勤労・奉仕の心に満ちた生徒の育成　／　健康で逞しい生徒の育成

育成をめざす資質・能力

知
○基礎的・基本的な知識・技能を習得する。
○望ましい学習規律・学習習慣を身に付ける。
○筋道を立てて考え、理由や根拠を明確にして表現する。
○主体的に課題をとらえ、協働的に学び合い、学びの意義を実感する。

徳
○自他の生命を大切にする。
○自他を尊重し、思いやりの心をもって接する。
○共感的な人間関係を築き、自律的な判断に基づいて行動する。
○共に高め合おうとして取り組み、その良さや高まりを実感する。

体
○基本的な運動・食・生活習慣を身に付け、安全な生活を送る。
○自己の身体や環境の状況を判断し、適切に対応する。
○主体的に課題をとらえ、目標に向かって根気強く取り組む。

学校の達成目標

◎わかる授業をめざします。
　…生徒の肯定的評価目標 80%
◎学力向上をめざします。
　…各種(国、県)調査で全国比、県比 105
《取り組み》
①基本的な学習過程を定着させ、自分の考えを表現できる授業に努めます。
②協働的な学びを展開し、探究的な学習の質を高めます。

◎温かい言葉遣いをします。
　…生徒の肯定的評価目標 85%
◎時間いっぱい清掃します。
　…生徒の肯定的評価目標 85%
《取り組み》
①温かい言葉遣いをしている生徒を称賛・紹介し広げていきます。
②『磨心タイム』を時間いっぱい活用します。

◎先手必勝のあいさつ・張りのある声での返事」をできるようにします。
　…生徒の肯定的目標 85%
◎体力・運動能力を高めます。
　…県比較目標 100(重点：持久力)
《取り組み》
①できている学年や学級等を称賛し、全体に広めていきます。
②登下校の徒歩通学を奨励し、日常的に６０運動を展開します。

家庭と連携して

◎家庭学習を毎日続けます。
◎適正なメディアコントロールを行います。
◎読書に親しみます。

◎相手の心を温かくする言葉遣いをします。
「ありがとう」等
◎家の手伝いを続けます。

◎「先にあいさつ、張りのある声での返事」に取り組みます。
◎健康課題の解決のため、検診後の迅速な対応や、登下校の仕方の工夫に取り組みます。

地域とともに、心豊かな生徒を育てます。

《コミュニティー・スクール》
◎学校運営協議会の設置により、保護者、地域への情報発信と積極的な経営参画の要請
《学校運営への参画》
1　多様な団体との話し合い
2　地域の未来像の共有

《地域の教育人材・資源の活用》
1　人材、団体、自然、地域産業、文化財、施設等の有効活用
2　学習ボランティアの活用
　（図書館、各教科等）
3　郷土芸能保存会との連携
　（文化祭での郷土芸能発表）

《部活動を補完する活動》
◎育成会協議会の設置による、今後の部活動のあり方についての検討
◎休日部活の地域部活動化先行取組への対応

※『まなびフェスト』は学校の達成目標について、生徒の参加や家庭の協力、地域との連携を図りながら達成をめざすものです。